



吹田 薫 議員

「子ども・子育て支援 あくしょん・ぷらん 2020」(案)について

問

市で待機児童が増加している原因は。

答

女性の労働意欲の高まりによる入所希望が増加していると推察しています。

問

少子化問題に対する施策を今後どのように充実させていくのか。

答

子ども未来部長

現在策定中の「高島市子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん2020」において基本目標のもと取り組む130の事業の中で、具体的に検討していきます。

問

市で待機児童が増加している原因およびその解消の施策は。

答

子ども未来部長

核家族化の進展とともに、国に先駆け保育料の軽減措置

を講じてきたことで女性の労働意欲の高まりにつながり、その結果、乳幼児段階から保育園等の入所希望が増加していると推察されます。

一方、低年齢児の入所が増えることにより、ますます保育士の確保が困難となつていきます。このことから、新たな地域型保育事業所の設置を位置付けるとともに、保育園等においてさらなる乳幼児の受け入れが可能となるよう、保育士確保対策に取り組むこととしていきます。

問

市独自の賃金補助を行うことについてどのような見解か。

答

子ども未来部長

令和2年度の予算案において「新規採用保育士等雇用促進緊急助成事業」として、新規採用職員の処遇の改善を図るため新規に常勤の保育士を雇用する場合に、採用時に1人につき5万円の給付費を支給する事業費を計上しています。

また、私立保育園の保育士の給与改善支援として、市からの委託料において処遇改善加算を行っているところです。この制度は市からの委託料に

私立保育園における職員の平均勤務年数や賃金改善への取り組みに応じた人件費の加算、さらに、技能経験を積んだ職員にかかる追加的な人件費の加算を行い、保育士の賃金の改善を行っているものです。



その他の質問

○地域コミュニティの現状と課題について